

枚方淀川探鳥会2024年4月

I 今月の鳥・セグロセキレイ

2024年(令和6年)4月7日(日) 9:00~12:00

日本野鳥の会大阪支部

前田初雄、甲田正二、西脇淳浩、香月清宏、
松井正夫、新名泰博、平 軍二 (☎090-6901-1425)



セグロセキレイ 谷和紗 (小学生)

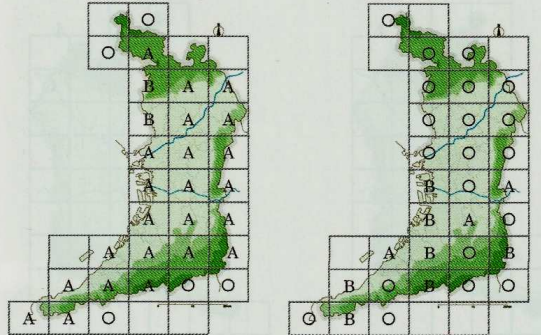
←セグロセキレイ

3月の探鳥会ではセキレイが4種(セグロセキレイ・キセキレイ・ハクセキレイ・タヒバリ)観察した。谷和紗さん(小学生)写された写真でセグロセキレイを紹介します。

329. ハクセキレイ *Motacilla alba* ● 留鳥

夏 5/20~7/20

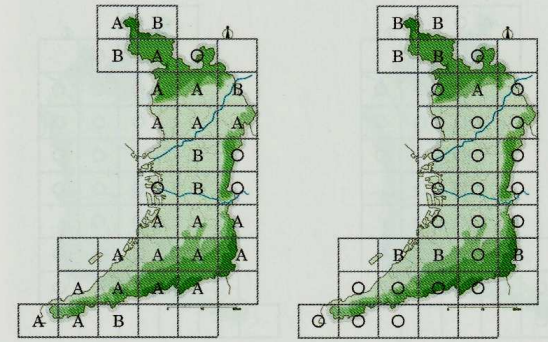
秋 7/21~11/30



330. セグロセキレイ *Motacilla grandis* ○

夏 5/20~7/20

秋 7/21~11/30



I-①ハクセキレイ・セグロセキレイ

大阪府鳥類目録2016(日本野鳥の会大阪支部) →→

かつてはセグロセキレイが留鳥・ハクセキレイは冬鳥であったが、1983年に大阪府内でのハクセキレイの繁殖が確認されて以来、繁殖範囲が広がっており、今ではセグロセキレイを凌駕している。

I-②枚方淀川探鳥会の最近の実績(P3観察鳥チェックリスト)

ハクセキレイ セグロセキレイ

観察回数 (2012年1月~2023年12月) 105回 102回
観察個体数(2013年4月~2024年3月) 68羽 20羽

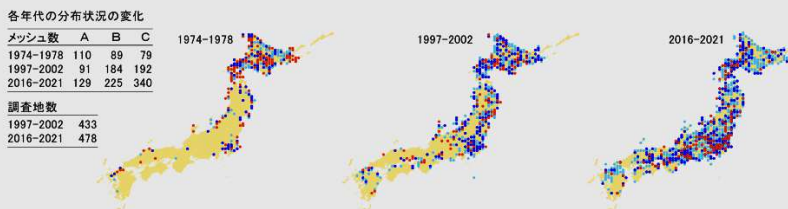
観察回数はほぼ拮抗しているが、観察個体数ではセグロセキレイが非常に少ない。

I-③ハクセキレイ・セグロセキレイ

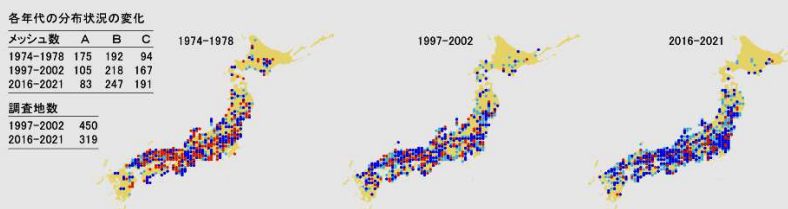
全国鳥類繁殖分布調査 環境省

バードリサーチ・日本野鳥の会 全国鳥類越冬分布調査(2016-2021)

ハクセキレイ 分類:スズメ目セキレイ科 White Wagtail *Motacilla alba*
全長:19.7-21.4cm 翼長:♂96.58±0.55mm ♀89.93±0.89mm 尾長:22-26mm 尾長:♂98.30±0.50mm ♀92.29±2.46mm
環境省レッドリスト:—



セグロセキレイ 分類:スズメ目セキレイ科 Japanese Wagtail *Motacilla grandis*
全長:21.1cm 翼長:♂96.8±2.0mm ♀92.7±2.0mm 尾長:♂26.4±0.9mm ♀25.0±0.8mm 体重:♂31.2±2.3g
環境省レッドリスト:—



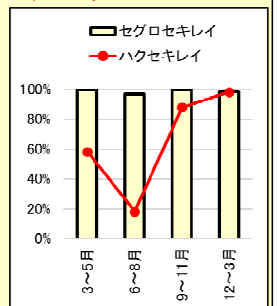
←ハクセキレイ 九州以北の全国に留鳥として分布し、北部の個体は冬期は南へ移動する。過去3回の調査期間を通じて記録メッシュ数が大幅に増加した。新たにハクセキレイが記録された現地調査地点の割合は西日本に行くほど多く、北日本からの分布の拡大が顕著である。

←セグロセキレイ 九州から本州にかけて留鳥として、北海道には夏鳥として分布する。記録メッシュ数は北海道で減少している以外は大きな変化はないが、比較可能な現地調査の結果では450地点から319地点と減少傾向にある。

I-④万博探鳥会のデータ

イ) 1985~2004年

季節別 →→



ロ) 年間ベース

1985~2004年平均

セグロセキレイ 99%

ハクセキレイ 67%

2005年~2023年

セグロセキレイ 90%

ハクセキレイ 97%

II 探鳥会観察チェックリスト

日本 鳥類 目録	鳥名	観 察 回 数	2023				2024			
			4/2	5/7	6/4	7/2	1/7	2/4	3/3	4/7
5	キジ	49	3		2	1				
21	ツクシガモ	1					3	1		
26	オカヨシガモ	47		雨			3	26	38	
27	ヨシガモ	16	10	天			6	11	19	
28	ヒドリガモ	44		中			2			
29	アメリカヒドリ	5		止						
30	マガモ	56	1					2		
32	カルガモ	91	12		6				2	
34	ハシビロガモ	9								
35	オナガガモ	8								
36	シマアジ	1								
37	トモエガモ	1								
38	コガモ	59	10				1			
42	ホシハジロ	40	3				48	70	33	
43	アカハジロ	4						1		
46	キンクロハジロ	42					114	275	67	
47	スズガモ	6								
58	ミコアイサ						1			
59	カワアイサ	46					15	6		
60	ウミアイサ	3								
62	カイツブリ	46	1				1	1		
64	カンムリカイツブリ	57	2				4	9	2	
66	ハジロカイツブリ	4								
74	キジバト	112	4		2	1	3	10	6	
83	シロエリオオハム	1								
127	カワウ	111	7		6		9	16	6	
139	ゴイサギ	10			1	5				
141	ササゴイ	15								
143	アマサギ	2								
144	アオサギ	113	2		1	1	4	2	10	
146	ダイサギ	109	5		6	2	2	3	3	
148	コサギ	100	5		1	1	3	4	1	
153	ヘラサギ	1								
154	クロツラヘラサギ	1								
166	クイナ	12								
170	ヒクイナ	7								
174	バン	23								
175	オオバン	48	53				53	122	54	

日本 鳥類 目録	鳥名	観 察 回 数	2023				2024			
			4/2	5/7	6/4	7/2	1/7	2/4	3/3	4/7
185	ホトトギス	2								
187	ツツドリ	2								
188	カッコウ	1		雨						
192	アマツバメ	2		天						
194	タゲリ	1		中						
195	ケリ	27		止						
202	イカルチドリ	9								
203	コチドリ	30	1						1	
204	シロチドリ	4								
219	タシギ	4					1			
227	チュウシャクシギ	2								
235	アオアシシギ	1								
239	クサシギ	3								
241	キアシシギ	1								
244	イソシギ	80	1				2	3	1	
251	トウネン	1								
266	ハマシギ	1								
286	ユリカモメ	22								
293	ウミネコ	3								
294	カモメ	3								
299	セグロカモメ	19						1		
307	コアジサシ	9								
339	ミサゴ	66					1	2	2	
340	ハチクマ	2								
342	トビ	92	3		1	3	2	2	1	
349	チュウヒ	1						1		
350	ハイロチュウヒ						1			
355	ハイタカ	33	2				1	2		
356	オオタカ	25	1		1	2		1	1	
357	サシバ	1								
358	ノスリ	34					1	1		
366	オオコノハズク	1								
383	カワセミ	97	2		2	1	1	1	1	
388	アリスイ	9								
390	コゲラ	94	2		5	3	2	3		
393	アカゲラ	6								
401	チヨウゲンボウ	53	1			3	1	1	1	
407	ハヤブサ	26					1	2		

日本 鳥類 目録	鳥名	観 察 回 数	2023				2024							
			4/2	5/7	6/4	7/2	1/7	2/4	3/3	4/7	5/5	6/2	7/7	
412	サンショウクイ	1												
418	サンコウチョウ	1		雨										
420	モズ	103	2	天	1	4	7	6	3					
435	ハシボソガラス	114	14	中	13	8	11	17	14					
436	ハシブトガラス	111	4	止	3	4	3	4						
438	キクイタダキ	8												
439	ツリスガラ	1												
442	ヤマガラ	7												
443	ヒガラ	1												
445	シジュウカラ	106	14		4	8	7	4	6					
452	ヒバリ	64	1			1								
455	シヨウドウツバメ	6												
457	ツバメ	58	2		41	30								
459	コシアカツバメ	20												
461	イワツバメ	46			70	2	100		30					
463	ヒヨドリ	115	234		35	33	153	120	32					
464	ウグイス	109	18		10	15	6	4	4					
466	エナガ	87	6		3		5	9	6					
476	オオムシクイ	5												
477	メボソムシクイ	5												
479	エゾクシクイ	1												
480	センダイムシクイ	7												
483	メジロ	92	2		8	7	8	3	4					
492	オオヨシキリ	30			6	6								
499	セッカ	29			3	4								
506	ムクドリ	102	9		93	60	13	35	2					
508	コムクドリ	5												
511	ホシムクドリ	2												
520	マミチャジナイ	1												
521	シロハラ	51	1				2	1						
522	アカハラ	2												
525	ツグミ	55	72				4	27	30					
533	ノゴマ	1												
536	ルリビタキ	1												
540	ジョウビタキ	55					1	2	2					
542	ノビタキ	13												
549	イソヒヨドリ	33					1	1						

日本 鳥類 目録	鳥名	観 察 回 数	2023				2024							
			4/2	5/7	6/4	7/2	1/7	2/4	3/3	4/7	5/5	6/2	7/7	
552	エゾビタキ	8												
553	サメビタキ	1		雨										
554	コサメビタキ	17		天										
558	キビタキ	16		中										
560	オジロビタキ	1		止										
561	オオルリ	4												
569	スズメ	114	11		42	28	26	33	24					
573	キセキレイ	36	1				1	2	1					
574	ハクセキレイ	105	5		4	1	8	14	8					
575	セグロセキレイ	102	2			2	2	2	2					
584	タヒバリ	29	1				2	6	25					
586	アトリ	29												
587	カワラヒワ	104	11		6	3	35	31	36					
588	マヒワ	6												
592	ベニマシコ	44												
600	シメ	41						1						
602	イカル	17												
610	ホオジロ	109	14		10	8		8	2					
614	ホオアカ	6												
617	カシラダカ	23												
618	ミヤマホオジロ	1												
624	アオジ	65	3				6	12	9					
628	オオジュリン	17												
	コジュケイ	13												
	カワラバト(ドバト)	110	○		22	1	23	130	56					
	ハッカチョウ	1												
	カッコウSP	5												
	アイガモ	3												
	メボソムシクイSP	5												
	ヒタキSP	3												
種数合計(自動計算)			45		30	30	49	48	41					
個体数合計(自動計算)			559		408	248	709	1047	548					
探鳥会参加者数			16		28	16	24	17	27					
11 年 間	1~2回		2012年1月~2023年12月の11年間に											
	100回以上		観察回数のない種・多い種、更に樹林伐採の影響を受けるとされる種を											
今後樹林伐採影響			リストアップした。											

Ⅲ 先月(3月3日)探鳥会報告

集合地点から見える「関医タワー(高さ116m)」の屋上で動く鳥、望遠鏡で確認してもらおうとハヤブサが獲物を処理していた。獲物は鳥らしく羽を飛び散らしていたが、飛んできた羽にグリーン、食べていたのは何とアオバトだったと思われる。淀川河川敷は樹林伐採もあり、アオバトが住める所は無くなったと思われるが、何処でアオバトを捕らえたのか不思議である。淀川河川公園の「多自然池」をぐるりまわって1時間後、天野川河口近くに戻って「関医タワー」を見ると、ハヤブサはまだ屋上におり、食事が終わったらしく頭を上げていた。

また、先月「オオタカの森」で観察されたことで今年も繁殖?と楽しみにしていたオオタカ、「多自然池」西側の淀川本流の水面上を、数mの高さで直線的に下流方向へ飛び、枚方淀川大橋を超えて見えなくなった。水面上にいたキンクロハジロなどに驚いて逃げる個体もいたが、オオタカはカモを襲うことなく飛び去った。今年も近くで繁殖してくれるだろうか。

淀川本流のカモは種数(8→5種)、個体数とも先月より少なかったが、上空にはイワツバメの飛翔、アオサギ5羽が編隊で何回も飛び回り、地上ではセキレイ4種(キセキレイ・セグロセキレイ・ハクセキレイ・タヒバリ)が出た。

天気が良く、風も強くない探鳥日和、観察種数は41種にとどまったが、ブッシュの中からウグイスのさえずりが響き、林の鳥エナガ・シジュウカラも出るなどコースを通して鳥が出て、参加して下さって方に楽しんでもらうことができた。



オオバン (谷和紗)



ツグミ (谷和紗)



ヨシガモ (西脇淳浩)



アオサギ (平軍二)

Ⅳ 来月2024年5月5日探鳥会



キジ(20190406) 沖光二氏



残されたオオタカの森 (平軍二)
(ここではオオタカ観察できず)

今日と同じように 大阪支部HPからホームズ様式からお申し込みください。

枚方淀川探鳥会のメインルート「野鳥通り」を中心に樹林が伐採されたことで、草原の鳥が良く観察できる筈です。最も期待しているのは「キジ」、春の雄たけび「ケーン・ケーン」に「乞うご期待」